

レトロトレインサウンズ (列車懐古録音集リスト)

現在普及している家庭用ビデオが市販される以前の1970年(昭和45年)の国鉄時代から、当時鉄道写真撮影で全国を駆け巡っていた時代に、現地までの旅のプロセスとして、また、その旅を実感として捉える手段として、乗車した列車などの走行音や車内放送などを録音した(当時は生録「ナマロク」と称していた)テープで、廃止又は区間変更された列車が主体のテープを頒布することになりました。これらは、乗車区間ノーカット版と、各々60分、90分、120分に要約した(車内放送は発車直前から発車後の停車駅、到着時刻、途中駅の案内や、夜行列車ではおやすみ放送、おはよう放送などを駅間の一定時間を省略して、走行音を含めて収録しております)カセット版です。但し、録音場所によって(例えば旧型客車の車掌室内やデッキ等、スピーカー設備の無い場所では)放送が入らないか、聞こえにくい場合があることを御理解下さい。

現在、主要幹線で運転最高速度120km/h以上の路線では、重軌条でロングレール化、PC枕木化で軌道強化され、レールの継ぎ目を刻む音が少なく、走行音も静かで、当時とは雲泥の差が生じ、それだけに当時は、現代より旅情を感じられた時代であったと云えましょうか。

現代のように、イベント列車など無かった時代の定期列車(船)を忠実に再現してくれます!。では、その全作品リストを御紹介しましょう。

尚、御不明な点や御質問はお問い合わせ下さい。

【SL及びSL列車編】

●No.1 A面 中央西線 木曾福島-原野 869レ(貨物列車)
D51-401+D51-201(重連)前部本務機関車運転室内で録音。出発前の車掌との打合せと第1閉塞信号現示停止(部内用語で信号現停と呼ぶ)で一旦停車。10%勾配での引き出し(発車)が圧巻!。特に登り勾配で20~30km/h位の低速域でのドラフト、ブラスト音は最高です。~B面 中央西線 木曾福島-奈良井 869レ(貨物列車)

D51-827+D51-238(重連)前部本務機関車運転室内で収録。サミットの藪原~奈良井間鳥居トンネル内で絶気運転(惰行運転)に入るまで連続勾配を力行する迫力をどうぞ!。投炭作業の音も完璧に録音してあります。以上73年3~5月収録。A~B面90分 3000円

●No.2 A面 中央西線 塩尻-木曾平沢 868レ(貨物列車)
D51-893 機関車運転室内で収録。松本運転所塩尻支所(現在の塩尻大門)から出区し貨車に連結、車掌と打ち合わせ後発車。但し、本線進出時に一時欠落箇所発生あり。鳥居トンネル内のサミットまでの拌み勾配を連続力行を続ける迫力。日出塩~曇川~木曾平沢間現在新線移行で廃線となっている旧単線区間走行。73年5月収録。

B面 越美北線 越前大野-勝原 8151レ(単機回送)
28651(8620形機関車運転室内で収録)越前大野で貨車開放後、当時終点だった勝原の転車台で方向転換のため単機で片登り勾配区間

を力行する。73年4月収録。

巻末付録として73年3月収録、早朝の明智線飯羽間～岩村間C12-230牽引貨物列車の通過走行音も。A～B面 60分 2000円

●No.3 A面 日中線 喜多方～熱塩 混623レ (客貨混合列車)

C11-6 (逆行運転) 次位のオハ61-3044のデッキ部で録音のため、ブラスト、ドラフト音及び走行音良好ですが、車内放送は聞こえません。熱塩到着後機回し線で上り方連結までの廃線以前の貴重サウンド。日中の運転が皆無で日中線との皮肉もあった線区。74年6月収録。

B面 磐越西線 喜多方～会津若松 244レ 会津若松行

C11-19 (逆行運転) 次位のオハフ61車掌室で録音。

喜多方始発で会津若松からの上野行き特急「あいづ」ほかの接続案内放送あり。塩川～会津若松間は連続片登り勾配のため、連続力行で特にブラスト、ドラフト音が良好。74年6月収録。

付録として巻末に只見線根岸～新鶴間C11-199牽引1491レの登坂走行通過音も。A～B面 90分 2500円

●No.4 A面 磐越西線 会津若松～尾登 237レ 会津若松発野沢行

C11-63 後部2両の客車は喜多方で分割後熱塩へ。車内放送あり。喜多方で会津盆地に別れを告げ、山間に分け入ると走行音が響きわたる。

B面 磐越西線 萩野～会津若松 234レ 新潟発郡山行

DD51+PC8+C11-63 (逆行) 237レ 野沢到着後上り234レ後部へ連結しSLは後部補機として運転。車内放送あり。夜間のため音響良好。以上74年6月収録。A～B面 120分 3000円

●No.5 A B面 信越本線～篠ノ井線 長野～松本付近 6812レ

臨時急行「ちくま2号」篠ノ井線SLさよなら列車

D51-549+D51-824 (重連)+PC7 長野発大阪行塩尻到着後871レ (貨物) で帰投し同線区でのSL運転の歴史に終止符を打った。篠ノ井から続く姥捨越えの連続登り勾配に挑む迫力サウンド。次位スハフ42で録音。さよなら運転の車内放送あり。

70年2月収録。A～B面 90分 2500円

●No.6 A B面 紀勢本線 亀山～六軒 821レ 亀山発伊勢市行

C58-335 次位オハ33で収録。六軒の松阪方場外で同列車発車通過まで収録。当時中部地区でのSL少数運転線区でした。

73年7月収録。A～B面 60分 2000円

●No.7 A B面 山陰本線 浜田～益田 823レ 浜田発下関行

C57-5+D51-797 (重連) SL次位～3位は郵便・荷物車のため4位のオハフ車掌室で録音。浜田発未明の4:15発車で益田まで55分間ノンストップ運転。力行、絶気の鋸運転が夜明け前の冷えた空気震わす。因にC57は益田で方転後528レ通勤通学列車を牽引して浜田戻る運用の回送補機。74年3月収録。A～B面 60分 2500円

●No.8 A B面 山陰本線 安岡～滝部 832レ 下関発東萩行

D51-612 オハ35最前席で録音。駅発車時の加速力とブラストドラフト音も迫力。74年3月収録。A～B面 60分 2000円

●No.9 A B面 宗谷本線 旭川～塩狩 323レ 旭川発名寄行

C57-87 石狩平野から北上し、機関車乗務員の果敢な職務を描いた小説「塩狩峠」の舞台になった山越えの難所に挑むサウンド。蘭留で後

部にDLの補機連結あり。次位のスハ32最前部で録音。

74年7月収録。 A～B面 60分 2500円

●No.10 AB面 石北本線 網走ー北見 1528レ～518レ 網走
発札幌行 北見から急行「大雪5号」 C58-139 次位スハフ44
車掌室で録音。SL列車廃止直前に、定数いっぱいC58には荷が重い
列車を牽引、美幌～緋牛内間の美幌峠越えに挑むブラスト、ドラフト音は
凄まじい。北見到着後機関区に引き上げ、DD51にバトンタッチするま
でを克明に。75年4月収録。付録として呼人～女満別間522レ、
1527レ急行「大雪5号」崩れ各停の走行通過音と網走発函館行きハ8
2系特急「おとり」の網走駅構内放送、網走からの車内放送も紹介。

A～B面 120分 3500円

●No.11 AB面 室蘭本線 古山ー岩見沢 227レ C57-57
苫小牧発岩見沢行 次位スハフ32最前部で録音。まだ万字線が廃止さ
れる直前で、万字炭山行接続や岩見沢での函館本線や廃止前の幌内線接続
案内放送も今では懐かしい。

74年7月収録。 A～B面 60分 1500円

●No.12 A面 室蘭本線① 苫小牧ー追分 223レ C57-144
追分到着直前の車内放送まで。B面 ②追分ー栗山 821レ D51-
1120 ③栗山ー岩見沢 229レ C57-135

沼ノ端で千歳線と分岐、駅間距離の長い丘陵地帯を越える路線をゆく。
全国国鉄線で最期まで残った当地のSLも、この年の12月に全機引退。
C57-135はSLさよなら列車牽引で有終の美を飾った後、東京の交
通博物館に静態保存された歴史上の最終機。全列車次位客車最前部で録音。

以上、75年2月～4月収録。 A～B面 120分 3000円

【旧型国電編】

●No.13 AB面 横浜線～根岸線 八王子ー磯子 946M 磯子行
クモハ73-175 当時、八王子～相原間単線時代で103系投入前
の吊り掛けゲタ電のモーターサウンド。八王子発車時に混雑で暫く雑音が
入りますが御理解を。70年5月収録。A～B面60分 1500円

●No.14 AB面 信越本線～篠ノ井線 ①長野ー松本 440M モハ
80-024 長野発小淵沢行 ②松本ー長野 221M 急行「天竜1
号」モハ80-226 冠着を頂点とする25%拝み勾配をモーターの
独特な金属音を山峡に響かせて姥捨越えに挑んだ、115～165系化以
前の懐かしのサウンド。車内放送を除き駅間の一部はカットしてあります。

以上77年12月～78年1月収録。 A～B面90分 1500円

●No.15 AB面 信越本線～篠ノ井線 ①長野ー松本 438M モハ
80-235 長野発甲府行 ②松本ー聖高原 1225M モハ80-
805 長野行 車内放送を除き駅間の一部はカットしてありますが、①
の稲荷山～冠着間の姥捨越え25%連続勾配区間はノーカットです。近代
車両と違い、ノッチ戻しが無いので必然的にノッチオフ、ノッチオンを繰
り返すノコギリ運転となる状況が分かるでしょう。明科～西条間は現在廃
線となった潮沢信号場経由です。

以上78年1月～2月収録。 A～B面 90分 2000円

◆その他の旧型電車については[列車前方展望ビデオ]リスト参照下さい。

【 運 転 室 内 運 転 編 】

- No.16 AB面 篠ノ井線～中央東線 松本～甲府 402M 急行「アルプス1号」クモハ165-61 松本発新宿行 松本運転所運転士の乗務区間は当時甲府までで、以遠は他区乗務員に引き継いでいた時代。まだ塩尻～岡谷間塩嶺トンネル経由新線建設以前で、全列車が大八廻りと云われた辰野経由であり、塩尻駅も旧駅で、上り本線の1番線は部内では篠ノ井本線と呼称されていました。富士見～小淵沢間は単線で、富士見～信濃境間は短絡新線建設以前の現在廃線区間であるが現存する旧立場川鉄橋走行です。運転室には放送設備は無く、車内放送は入りません。駅名、信号確認喚呼は鮮明で、独特のモーター音も魅力の一つ。
71年5月収録。 A～B面 90分 2500円
- No.17 AB面 中央東線～篠ノ井線 甲府～松本 7M 特急「あずさ4号」クハ183 新宿発松本行 辰野経由時代で、停車駅は小淵沢、茅野、上諏訪、松本だけの最優等列車。当時はまだ運転室内に放送設備が無く、車内放送は入りませんので悪しからず。塩尻は旧駅の4番線通過ですが、一部の駅以外番線呼称は無く、部内では中央下りと呼称していました。駅名、信号喚呼あり。
80年4月収録。 A～B面 90分 2500円
- No.18 AB面 信越本線～篠ノ井線～中央西線 長野～木曾福島 1006M 特急「しなの6号」クハ381 長野発名古屋行 西条～明科、日出塩～贛川～木曾平沢間（単線）の一部新線化で廃止された線路を走行。塩尻でスイッチバックしていた時代で、この区間は長野と木曾福島相互の運転士で担当。駅名、信号喚呼、車内放送あり。指導機関士添乗。80年5月収録。 A～B面 90分 2500円
- No.19 AB面 中央西線～篠ノ井線～信越本線 木曾福島～長野 1013M 特急「しなの13号」クハ381 名古屋発長野行 上記No.18の戻り仕業。指導機関士添乗。駅名、信号喚呼、車内放送あり。
80年5月収録。 A～B面 90分 2500円
- No.20 AB面 信越本線 長野～直江津 2301M 急行「妙高1号」クハ169-17 上野発直江津行 信越国境越えに活躍した定期急行在りし日のサウンド。運転室内放送設備無く車内放送は入らない。駅名、信号喚呼あり。80年6月収録。 A～B面 90分 2000円
- No.21 AB面 信越本線 直江津～長野 3014M 特急「白山4号」クハ489-2 金沢発上野行 両端ボンネット編成で、容量の大きいコンプレッサーとMGが重々しく響く。指導機関士添乗。駅名、信号喚呼あり。但し、運転室内に放送設備無く車内放送は入らない。
80年6月収録。 A～B面 90分 2000円
- No.22 AB面 信越本線～高崎線～東北本線 長野～上野 3004M 特急「あさま4号」クハ489-503 長野発上野行 長野新幹線開業で三セク化されたしなの鉄道線の旧信越線を一路上京する在りし日の名特急。碓氷峠越えでEF63連結、EL機関士との打合せも。指導機関士添乗。駅名、信号喚呼。運転室に放送設備無く車内放送は入らない。80年7月収録。 A～B面 90分×2本 3000円
- No.23 AB面 東北本線～高崎線～信越本線 上野～長野 3007M 特急「あさま7号」クハ489-3 上野発長野行

上記3004Mの折り返し列車で、関東平野を北上、横川でEF63補機後部連結。エアサス台車のエア抜きとブレーキテストを機関車運転士と確認後碓氷峠を登る。電車運転士は軽井沢到着まで信号状況のみ機関車運転士に通報するだけで運転操作は行わない。軽井沢で機関車開放後、台車にエアを注入し、ブレーキ緩解テスト終了で流しノッチで発車、一路終着長野を目指す在りし日の名門特急サウンド。駅名、信号喚呼あり。放送設備無し。80年7月収録。A～B面 90分×2本 3000円

【車内放送主体サウンド】

●No.24 A面 ①東北本線 上野ー一ノ関 21M特急「はつかり1号」モハネ583-24 上野発青森行発車前、発車後、途中主要駅到着時刻、接続案内、食堂車案内放送などを一ノ関まで。駅間走行音省略。71年7月収録。②常磐線～東北本線 上野ー青森 15M寝台特急「ゆうづる3号」モハネ582-30 青函連絡船接続案内、お寝み放送。早朝の陸奥市川で雪害遅延放送と青森到着時の構内放送。③青函連絡船 青森一函館 7便 津軽丸の船内放送。出航時の蛍の光りとドラの音が懐かしい。B面 ④函館入港時の接続案内放送。函館本線～室蘭本線 函館一登別 17D特急「北斗2号」キハ80-36 車内放送。登別一札幌 23D 特急「北斗1号」キハ80-? 札幌到着まで車内、食堂車案内放送。78年1月31日～2月1日収録。⑤常磐線 上野ー青森 205レ 急行「十和田3号」オハ14-? 案内及びお寝み放送と翌日の一ノ関、青森構内放送。⑥青函連絡船 青森一函館 松前丸出航時の状況全て。⑦函館本線 函館一札幌 421レ 函館発滝川行 発車からテープ終了の札幌到着放送まで。但し、途中走行音省略。84年月収録。

A～B面 120分 3000円

●No.25 A面 函館本線～室蘭本線 函館一 217レ 急行「すずらん4号」スロ62-502 函館発札幌行 夜行急行で発車前と発車後の案内及びお寝み放送主体でA面終了までの走行音。75年2月収録。

B面 函館本線～石北本線 札幌一網走 517レ～1517レ 急行「大雪5号」スロ54-507 発車前、発車後の車内案内と岩見沢でのお寝み放送。北見到着時のお早う放送と網走到着時の接続案内など走行音の一部も。75年2月収録。A～B面約90分 1500円

●No.26 A面 ①千歳線～室蘭本線～函館本線 札幌一函館 1218レ 急行「すずらん4号」スロ54-501 札幌発車前と発車後の案内及びお寝み放送。函館当茶前の連絡船及び本州連絡案内。②奥羽本線～羽越本線～信越本線～北陸本線～東海道本線 青森一弘前 502レ

急行「きたぐに」スハ43-2216 青森発大阪行 青森発車時の各駅到着時間と寝台車は新潟で連結する旨の案内放送を。以上71年7月収録。B面 奥羽本線～羽越本線～信越本線～北陸本線～東海道本線

青森一大阪 4002レ 寝台特急「日本海1号」ナハネ20-310 車内放送を中心に録音。71年8月収録。A面約30分 B面約60分 120分テープ使用 2500円

●No.27 A面 函館本線 札幌一函館 12D 特急「北海」キハ80-24 札幌雪祭り期間に雪害で終日列車運転皆無。札幌駅構内に缶詰状態での構内放送と、深夜0時発で遅延運転の折り返し「北海」での放送。

函館到着時の本州接続案内など、滅多に聞くことの無い貴重放送。函館からは臨時便の松前丸で青森へ。

B面 東北本線 青森ー上野 26M 特急「はつかり4号」モハ484-19 発車時の雪害お詫び放送と中抜きで首都圏からの案内放送。途中は寝ていました。以上78年2月収録。A~B面約105分
120分テープ使用 2000円

●No.28 A面 奥羽本線~東北本線 青森ー秋田 402レ 急行「津軽1号」オハ12-? 青森発上野行 まだ福島~山形間新幹線工事着手以前の直通運転時代の車内放送と走行音の一部。75年10月収録。

B面 羽越本線~信越本線~上越線~高崎線~東北本線 秋田ー上野 804レ 急行「鳥海」スハ43-2478 寝台特急格上げ以前の急行での車内放送と走行音の一部。75年10月収録。

A~B面 90分 1500円

●No.29 A B面 東北本線~常磐線 仙台ー上野 4006M 特急「ひたち3号」モハ484-3 延々と太平洋沿いに状況する在りし日の485系時代のサウンド。車内放送と食堂車案内も古き良き時代でした。

78年8月収録。A~B面 60分に集約。1500円

●No.30 A面 東北本線 上野ー仙台 1025M 特急「ひばり25号」モハ483-2 夜のとぼりの降りた18時台に上野発車の特急での車内放送、食堂車案内放送と走行音を中心に録音。79年5月収録。

B面 仙山線~奥羽本線~米坂線~羽越本線~白新線 仙台ー山形 611D 急行「あさひ1号」キハ58-763 仙台発新潟行 奥羽山脈を越えて3県の県庁所在地を結んだ、在りし日の東北横断急行のサウンド。現在の快速「べにばな」の前身。79年5月収録。

A~B面 90分に集約。2000円

●No.31 A B面 奥羽本線~東北本線 山形ー上野 1034M 特急「やまぼと4号」モハ485-11 12両編成で運転され、米沢でEF71の前補機を連結して板谷峠を越えて上京する、「つばさ」に名称変更以前のサウンド。79年5月収録。A~B面 60分に 2000円

●No.32 A B面 東北本線~磐越西線 上野ー会津若松 1035M 特急「あいづ」クロ481-53 午後2時台上野発の中途半端な時間帯に設定されていた列車でしたが、会津地方の住人や観光利用客で常に満杯の優等列車だったサウンド。急行「ぼんだい」よりも利用率は高かった。78年8月収録。A~B面 90分に集約。2000円

●No.33 A B面 東北本線~高崎線~上越線~信越本線~北陸本線 上野ー糸魚川 迂回3003M 特急「白山1号」モハ488-? 上野発金沢行 この時期、信越本線妙高高原~関山間の白田切橋梁が土石流で崩壊、長期に亘って不通となり、上越線経由で運転された列車での希少価値サウンド。車内放送では繰り返す「信越線には行きません」との案内が。

78年6月収録。A~B面 45分 60分テープ使用 1500円

●No.34 A B面 信越本線 長野ー新潟 315M 急行「とがくし1号」モハ164-2 同区間に運転された2代目の優等列車で、初代は準急「あさま」であり、その後「赤倉」「南越後」と続き、特急格上げにより「みのり」をもってこの区間から直通列車は廃止されてしまった。

新ニイ所属湘南色165系時代の懐かしいサウンド。

- 7.2年8月収録。 A～B面 60分に集約。 2000円
- No.35 A B面 信越本線～高崎線～東北本線 長野～上野 5028 M 特急「あさま」号 サロ189-2 新幹線に名称を引き継がれた在りし日の名門特急のサウンド。二度と車内放送を聞くことは出来ない。80年8月収録。 A～B面 60分に集約。 2000円
- No.36 A B面 信越本線～篠ノ井線～中央西線 長野～名古屋 804 D 急行「きそ2号」 キハ58-421 中央西線全線電化完成直前まで運転されていたDC急行で、松本で大糸線からの「つがいけ」を連結。途中で冷房故障で27分遅延放送のハブニングサウンド。塩尻旧駅スイッチバック時代。73年8月収録。 A～B面 約75分 2000円
- No.37 A B面 東海道本線～中央西線～篠ノ井線～信越本線 大阪～長野 4803レ 急行「ちくま5号」 オハネフ12-2079 当時、客車列車時代の夜行急行で、お寝み、お早う放送も懐かしい。72年8月収録。 A～B面 60分に集約。 1500円
- No.38 A B面 信越本線～篠ノ井線～中央西線～東海道本線 長野～大阪 4812D 急行「ちくま3号」 キロ28-199 塩尻発車後お寝み、京都到着前にお早う放送。DC化された夜行急行のサウンド。74年8月収録。 A～B面 60分に集約。 1500円
- No.39 A B面 信越本線～北陸本線～東海道本線 新潟～大阪 4008 M 特急「北越2号」 サロ481-9 湖西線開通以前の米原経由時代の貴重サウンドで、現在、この名称特急は金沢～新潟間に圧縮されており、関西に顔を出すことは無くなってしまった。74年8月収録。 A～B面 60分に集約。 1500円
- No.40 A B面 東海道本線～北陸本線 大阪～富山 4011 M 特急「雷鳥1号」 サロ481-12 683系増備で、もう関西系485系の同線系統での運転は廃止が決定。国鉄タイプの形式は消滅する。77年10月収録。 A～B面 60分に集約。 1500円
- No.41 A B面 北陸本線～東海道本線 富山～名古屋 8 M 特急「しらさぎ4号」 サロ481-30 この系統も681～683系に置き換えられ、同区間から485系は姿を消すことになります。77年10月収録。 A～B面 約45分で60分テープ使用 1000円
- No.42 A B面 阪和線～紀勢本線～伊勢線～関西本線 天王寺～名古屋 2D 特急「くろしお2号」 キロ80-3 延々紀伊半島を巡り、関西～中京を直通運転していた時代の貴重サウンドで、食堂車内でも録音。先頭車は「いなほ」運用廃止で秋田から転属の通称ブルドッグのキハ81が当時は人気を集めていた。車掌長による肉声の観光案内も放送された、三セク化以前の伊勢線経由の長距離特急。78年7月収録。 A～B面 90分に集約。 2500円
- No.43 A B面 阪和線～紀勢本線～関西本線 天王寺～新宮 924レ 「はやたま」 スハネ30-7 天王寺発名古屋行 新宮まで寝台車連結で列車名が付いた普通列車でしたが、天王寺～和歌山間ノンストップ運転のEF58牽引夜行列車。乗務車掌の出発点呼から天王寺駅の構内放送、車内放送ではホームの短い駅での締切り扱いまで、懇切丁寧な案内が。新宮で寝台車を開放後DF5C牽かれた普通車だけ名古屋を目指して長途の旅へ。79年5月収録。 A～B面 60分に集約。 2000円

●No.44 AB面 紀勢本線～伊勢鉄道～関西本線 紀伊勝浦～名古屋
4D 特急「南紀4号」キロ80-59 キハ85系投入以前の80系
時代のサウンド。観光特急での車内放送と走行音の一部をどうぞ。

79年5月収録。A～B面 60分に集約。 2000円

●No.45 AB面×2 鹿児島本線～山陰本線～福知山線～東海道本線
博多～新大阪 6D 特急「まつかぜ4号」キロ80-38 延々と山
陰地方を經由して大阪を目指した80系DC在りし日のサウンド。重厚な
エンジン音と今では絶対に聞くことが出来ない放送が魅力の作品です。

76年8月収録。130分で90分×1本と60分×1本 3000円

●No.46 AB面 東海道本線～山陽本線～鹿児島本線 東京～博多 9
レ 寝台特急「あさかぜ1号」ナハネ20-11 まだ現在ほどブルト
レが衰退していなかった時代の思い出のサウンド。食堂車案内やお寝み、
お早う放送にも味わいがあったような気がするの私だけでしょうか？

71年7月収録。A～B面 60分に集約。 1500円

●No.47 AB面×2 東海道本線～山陽本線～鹿児島本線～日豊本線
東京～西鹿児島 7レ 寝台特急「富士」ナハネ20-16 14系～
24系化される直前で、現在の様に大分止まりなど考えられなかった時代
の約1日掛かりで走破した国鉄最長距離レコードホルダー列車のサウンド
。EF65-500台～EF30～EF76～DF50と牽引機が交替。

◎(付録)鹿児島本線 西鹿児島～博多 24M 寝台特急「明星8号」
モハネ582-43 西鹿児島発新大阪行 当時、昼行特急「なは」と同
様583系で運転されていた時代背景のサウンドもお楽しみ下さい。

以上、73年8月収録。A～B面90分×2本使用。 3000円

●No.48 A面 鹿児島本線～山陽本線～東海道本線 博多～名古屋 2
2M 寝台特急「金星」モハネ583-51 東京まで運転される事の
無かった中京圏止まりの珍しい電車寝台列車で食堂車は営業休止です。岐
阜あたりから放送再開します。 74年3月収録。

B面 東海道本線～山陽本線～呉線～山陽本線 新大阪～三宮
1001レ 寝台特急「安芸」オハネ24-? 新大阪発下関行
この列車をもって急行列車時代から続いた「安芸」の営業列車最終日のサ
ウンド。御愛顧有り難う放送あり。 78年9月30日収録。

A面約25分とB面約25分で60分テープ使用。 2500円

●No.49 AB面 中央西線～篠ノ井線～信越本線 名古屋～松本 80
5M 急行「きそ3号」モハ164-808 名古屋発長野行 名古屋
駅入線放送から始まり車内放送と走行音のアンサンブルをどうぞ。

80年1月収録。A～B面約110分で120分テープ 2000円

●No.50 A面 紀勢本線 紀伊長島～梅ヶ谷 122レ 新宮発亀山行
DF50-21牽引の客車列車で、当線きつての難所、荷阪峠を登坂する
DLの力行音を次位客車最前部で録音。ズルツァー形機のエンジン音はS
Lのブラスト音に相似。79年5月収録。A面のみ約20分 1000円

★以上、品番明記の上、現金書留か定額小為替で。代金引き換えは350
円加算。送料は1カセット140円、2カセット200円、3カセット2
40円、4カセット270円です。尚、不明の点はお問い合わせ下さい。
〒390-0803 長野県松本市元町2-6-38 鉄道喫茶「みち」
島田信夫 ☎0263-35-9557